

(広報資料)

平成 20 年 5 月
理 財 局

平成 20 年度予算における局配分枠の状況について

政策重点化枠については、これまで予算要求の内容と査定結果について公開してきましたが、平成 20 年度予算(当初及び肉付補正)から新たに、局配分枠予算について、各局ごとに重点方針などを示した「予算編成に当たっての考え方」及び「主な新規・充実事業」について公開します。

平成20年度局配分枠予算について

保 健 福 祉 局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

保健福祉局では、「共に等しく生き、支え合うまち 安心・安全な保健・医療・福祉のまち 京都」の実現という基本理念に沿って、平成20年度予算編成を行いました。

このうち、局配分枠（義務費等枠、局裁量枠）予算については、国制度改正により義務的に実施すべき事業のほか、主に以下の3つの観点から新たに必要となる事業を検討したうえで、国補助金等の活用が見込めるなど、比較的少ない負担で実施可能な事業を厳選し、局配分枠予算における新規・充実事業としました。

- ① すべての市民の皆様が健やかに暮らせるよう、介護予防や介護基盤の充実、障害のある方の自立支援の充実等、少子長寿化に呼応した福祉社会の構築
- ② 子どもを安心して産み育てていただくための施策を一層充実し、社会全体で子育てを支える「子育て支援都市・京都」の推進
- ③ 市民の健康づくりの推進と医療制度改革に対応した基盤づくり

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

【当初予算計上】

中国残留邦人生活支援事業 312,469 千円

【肉付補正予算計上】

小規模多機能居宅介護拠点建設助成（2箇所） 30,000 千円

障害児地域支援体制整備事業 8,884 千円

<充実事業>

【当初予算計上】

生活習慣病予防対策 全体事業費 22,986 千円（うち充実分 9,563 千円）

【肉付補正予算計上】

地域子育て支援ステーションの拡充（10箇所）

全体事業費 47,900 千円（うち充実分 3,400 千円）

新生児等訪問指導

全体事業費 35,895 千円（うち充実分 25,584 千円）

平成20年度局配分枠予算について

環 境 局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

環境局では、「脱温暖化社会の構築」と「循環型社会の構築」の2つを施策の柱とし、平成20年度の予算編成を行った。

「脱温暖化社会の構築」においては、温室効果ガス排出量削減の目標年次である平成22年まで残り2年となる中で、運輸部門対策として、自動車から出る温室効果ガス全排出量の約7割を占める一般ドライバーへの排出量削減に重点を置いた施策を実施する。

また、「循環型社会の構築」においては、ごみ減量の上流対策（ごみの発生抑制、再利用など）に重点を置いた施策や、拠点回収事業など市民の自主的なごみの分別・リサイクルのための取組支援を着実に推進するとともに、これまで進ちょくが遅れていた事業系ごみ減量のための取組に着手する。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

【当初予算計上】

ごみ処理施設見学会	1,200 千円
有料指定袋資源用10L袋の製造	109,000 千円

【肉付補正予算計上】

京(みやこ)のエコドライブ大作戦	11,000 千円
事業系ごみ減量, リサイクル促進普及啓発	18,000 千円

<充実事業>

【当初予算計上】

水質汚濁対策	全体事業費 94,065 千円 (うち充実分 6,288 千円)
リユースびん(リターナブルびん)等の拠点回収	全体事業費 40,600 千円 (うち充実分 1,600 千円)
廃食用油燃料化事業市民回収支援	全体事業費 39,000 千円 (うち充実分 3,100 千円)
コミュニティ回収	全体事業費 44,000 千円 (うち充実分 7,700 千円)

平成20年度局配分枠予算について

産 業 観 光 局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

産業観光局では、様々な産業が相互にきめ細かく支え合う産業連関都市の構築に向けた取組を進めており、次の6つの重点方針及び京都市基本計画の分野別計画として策定した、「京都市スーパーテクノシティ構想」、「京都市伝統産業活性化推進計画」、「おいでやす京の商い～京都市商業ビジョン2004～」,「京都市農林行政基本方針」及び「新京都市観光振興推進計画～ゆとり うるおい 新おこしやすプラン21～」をはじめとする各種の計画を着実に推進し、京都経済の活性化を図るとともに活力あふれるまちを創造する予算の編成を行った。

- | |
|------------------------------|
| ① 多様で活力ある中小企業の育成と発展支援 |
| ② 産学公の連携による新産業の創出とベンチャー育成 |
| ③ 伝統産業の活性化と新たな展開の推進 |
| ④ 地域の特性に応じた商業集積づくり |
| ⑤ 市民に身近で地域の特色を生かした農林業の振興 |
| ⑥ 5000万人観光都市の実現に向けた魅力ある観光の創造 |

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

【当初予算計上】

融資制度預託金（環境経営促進金利優遇制度（京都ECOレート）の創設など）

融資預託金総額 57,077,000 千円の内数

「勸業館」ESCO事業 12,700 千円

【肉付補正予算計上】

北山杉の里整備 87,500 千円

中小企業知的財産活用強化プログラム 1,000 千円

防犯カメラ設置（木屋町共栄会） 7,000 千円

中央卸売市場第一市場整備（水産加工配送センター整備など） 118,000 千円

<充実事業>

【肉付補正予算計上】

融資制度預託金（新規融資枠の拡大：800億→1,000億）

全体事業費 63,077,000 千円（うち充実分 6,000,000 千円）

平成20年度局配分枠予算について

都 市 計 画 局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

都市計画局では、以下の5点に重点を置いて、局配分枠の予算編成を行った。

- 一 人と環境にやさしいまちづくりの推進
- 二 京都創生・景観政策の推進
- 三 安心・安全なまちづくりの推進
- 四 活力あるまちづくりの推進
- 五 住み続けられるまちづくりの推進

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

【当初予算計上】

北白川丸山町緑地整備 656,650 千円

【肉付補正予算計上】

京町家実態調査 5,000 千円

建築基準法上の指定道路台帳の整備 53,995 千円

都市計画道路網の見直し調査 5,600 千円

<充実事業>

【当初予算計上】

美観地区等規制指導事務 全体事業費 24,380 千円 (うち充実分 15,010 千円)

検査向上・違反指導 全体事業費 14,995 千円 (うち充実分 954 千円)

木造住宅耐震改修助成 全体事業費 6,000 千円 (うち充実分 0 千円)
(助成率等の充実)

京町家耐震改修助成 全体事業費 5,300 千円 (うち充実分 2,200 千円)

平成20年度局配分枠予算について

建設局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

建設局においては、マニフェストの柱である「環境への高い志を有する」まちづくり及び「いのちを大切にする」まちづくりを実現するために、以下の3点を重点化の柱として予算を編成しました。

- 「魅力ある美しいまちづくり」…放置自転車対策，緑化推進事業，公園整備，
無電柱化，堀川水辺環境整備など
- 「交通基盤整備」…道路・街路整備，立体交差化事業など
- 「安心・安全」…橋りょう改修，道路・河川・公園の維持補修など

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

【肉付補正予算計上】

緑化推進事業（新たな「緑の基本計画」の策定，その他公園整備（春日公園，城ノ前公園（仮称）他）	408,150 千円
道路事業（無電柱化事業（河原町通）など）	272,000 千円
街路事業（京都貴船線，街路基本調査（吉祥院下鳥羽線，北泉通（高野川橋りょう））	431,600 千円

<充実事業>

【肉付補正予算計上】

緑化推進事業（まちなか緑化助成）	全体事業費 2,879,187 千円（うち充実分 3,000 千円）
道路事業（舗装アセットマネジメント，橋りょう基本調査）	全体事業費 15,904,424 千円（うち充実分 73,000 千円）

平成20年度局配分枠予算について

教育委員会

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

教育委員会では、新しい時代を拓く子どもたちに「確かな学力」と「豊かな心」、「健やかな体」を育む学校教育と、世代を超えて地域で学び合う生涯学習において、全国をリードする教育改革に取り組んでいる。20年度においても、厳しい財政状況のもと、すべての事業経費をゼロベースから見直すとともに、正規職員が実施している業務の嘱託化・職員数削減などの効率化を進めながら、幅広い市民ボランティアや大学、経済界等の参画のもと、さらなる教育改革の推進と、京都創生策などの本市基本計画をふまえた事業展開を図る予算案とした。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

【当初予算計上】

ジョイントプログラム	28,303 千円
第9回国際マンガサミット京都大会	96,800 千円

【肉付補正予算計上】

小学生の長期宿泊・自然体験活動	18,600 千円
「京都市子ども読書活動推進計画」次期計画策定	3,000 千円
「親の学び」育みプログラムの策定・実践	3,000 千円
「子どもを取り巻く緊急課題語り部講座」開催	2,000 千円
全市版PTAハンドブック発行	3,300 千円
源氏物語千年紀事業「特別展 源氏物語と平安京」	5,867 千円

<充実事業>

【当初予算計上】

学校評価システム支援事業 全体事業費 12,493 千円（うち充実分 10,163 千円）

【肉付補正予算計上】

学校運営協議会設置校拡大 全体事業費 14,136 千円（うち充実分 2,814 千円）
サイエンス・コラボ・ティーチャー配置拡大
全体事業費 22,800 千円（うち充実分 4,800 千円）
「学校ふれあいパーク」実施校拡大
全体事業費 8,000 千円（うち充実分 3,000 千円）

平成20年度局配分枠予算について

文化市民局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

文化市民局では、以下の重点方針に基づき、市民サービスの水準が低下することのないよう十分配慮しながら、より高品質で満足度の高い施策が行えるよう予算編成を行った。

(文化市民局重点方針)

- ①文化財や伝統文化の保存・継承及び文化芸術の振興を通じた文化芸術都市の創生
- ②区役所の総合庁舎化、区役所機能の強化等による区役所サービスの向上
- ③市民が安心安全に暮らせるまちづくりの推進
- ④あらゆる人権問題の解決及び男性と女性が共に社会参加できる共同参画社会の推進
- ⑤市民が気軽にスポーツに親しめる環境の整備

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

【当初予算計上】

人権啓発フェスティバル	15,000 千円
多重債務者対策	2,616 千円
競技スポーツ強化振興事業	6,700 千円

<充実事業>

【当初予算計上】

京都文化祭典'08	全体事業費 82,364 千円 (うち充実分 17,500 千円)
個性あふれる区づくり推進事業	全体事業費 94,262 千円 (うち充実分 8,100 千円)

【肉付補正予算計上】

文化財保護事業資金融資事業	全体事業費 150,176 千円 (うち充実分 150,154 千円)
地域の安心安全ネットワークの形成	全体事業費 8,000 千円 (うち充実分 600 千円)

平成20年度局配分枠予算について

消 防 局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

消防局は、火災、救急、地震など市民の安心安全を脅かす災害が発生した場合において、24時間体制で、迅速かつ的確に対応しなければならない業務を所管している。

また、当局においては、火災予防の面においても積極的に取り組んでおり、本市は、現在のところ、人口1万人あたりの出火件数が、大都市の中で最も少ない都市となっており、行政評価の「災害に強く日々の暮らしの場を安全にする」という政策における客観指標評価にあっても着実に実績があがっている。

しかしその一方で、同じ行政評価の市民生活実感評価においては、いざ大地震等の災害が発生した場合、一人一人の市民が自信を持って迅速的確な行動ができるようになったとは、まだ言い難い状況である。

以上のことを踏まえ、市民の安心安全に直結する事務事業にあっては現行レベルを低下させず、また、職員の努力や工夫により対応できる事務事業は削減を行い、選択と集中により、安心安全が市民生活に実感としてより伝わることを念頭にとらえながら、局配分枠予算の編成を行った。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

【当初予算計上】

危険物質同定装置等の整備 36,000 千円

【肉付補正予算計上】

安心救急ネット京都（仮称）の創設 4,000 千円

救命講習受講者20万人達成記念事業 1,000 千円

聴覚に障害がある方等からの携帯電話等による119受信体制の整備 10,000 千円

大規模災害発生時の携帯電話等による情報収集体制の整備 10,000 千円

機甲分団（仮称）の創設 1,000 千円

北部等山間地域自主防災組織消火器材整備助成金制度の創設 1,000 千円

平成20年度局配分枠予算について

総合企画局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

市政を総合的に推進する観点から、①都市経営の視点に立つ政策の企画推進、②国家戦略としての京都創生の推進、③地球温暖化対策の推進、④市民参加の推進と市政情報の積極的な提供、⑤「大学のまち京都」を活かすまちづくり、⑥高度情報化の推進の6点を重点方針とし、これらを着実に実行に移すための諸事業に予算を優先的に配分した。その際、限られた配分枠予算編成にあつては、政策重点化枠予算との整合を図りながら、事業効果や社会情勢の変化に着目し、事務事業の見直しや一層の経費削減を進め、選択と集中によるメリハリの効いた予算編成を行った。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

【肉付補正予算計上】

声の市民しんぶんCD版作成	2,780千円
テレビ等における「市政ニュース」への字幕挿入	3,900千円
大学のまち・わくわく京都推進計画見直し	1,660千円

<充実事業>

【肉付補正予算計上】

こどもエコライフチャレンジ推進事業の実施校拡大	
全体事業費	5,700千円（うち充実分 1,700千円）
京（みやこ）のアジェンダ21推進事業 （京のアジェンダ21フォーラム事務局強化）	
全体事業費	25,434千円（うち充実分 7,760千円）
情報セキュリティの更なる向上	
全体事業費	76,700千円（うち充実分 17,000千円）

平成20年度局配分枠予算について

総務局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

総務局配分枠予算は、97%が人件費、残る3%が物件費という構成になっている。
人件費については、職員定数を基に、必要額を精査したうえで予算編成を行った。
物件費については、総務局予算の多くを占める内部管理及び維持管理的な経費に対し、これまで以上に精査を行い、経費の節減に努めた一方で、「京都市基本計画第2次推進プラン」、「京都市市政改革実行プラン」、「京都市財政健全化プラン」等における取組項目を着実に推進できるよう、限られた財源の中で効率的な予算の編成に努めた。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

【当初予算計上】

パリ市との友情盟約締結50周年事業	6,983千円
第11回世界歴史都市会議への代表団派遣	23,169千円

【肉付補正予算計上】

公民協働の推進	203千円
国際都市・京都の世界発信	10,000千円
芸術大学のあり方検討	4,297千円
芸術大学芸術資料館企画展の学外実施	1,000千円
芸術大学教員能力向上対策	1,000千円

<充実事業>

【当初予算計上】

職員提案制度	全体事業費2,016千円（うち充実分800千円）
京都市政史第1巻「市政の形成（叙述編）」の刊行	全体事業費16,307千円（うち充実分7,150千円）

平成20年度局配分枠予算について

市 会 事 務 局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

議会費予算については、平成16年度から導入された戦略的予算編成システムの下、平成19年度までの4年間で累計1億円を超える削減を行った結果、非常に硬直度の高い予算となっている。

こうした中で、平成20年度予算編成に当たっては、更に徹底的な事務経費の見直しを行い、改選後2年目に伴う議員改選経費等の臨時減のほか、局裁量枠予算の8,000千円を削減するとともに、議会運営に支障が出ないように必要経費の確保に努めた。

こうした厳しい財政状況の中ではあるが、より開かれた議会運営の推進を図っていく観点から、本会議について、現在実施している直接傍聴、また、代表質問・質疑のテレビ中継やインターネットでの録画放映に加えて、市民の視聴機会を拡大するため、新規事業として「インターネット動画配信 本会議生中継等の実施」の予算を計上した。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

【当初予算計上】

インターネット動画配信（本会議生中継等の実施） 169千円

平成20年度局配分枠予算について

選挙管理委員会事務局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

平成20年度局配分枠の予算編成に当たっては、年度中に土地改良区総代選挙が予定されていることから、この執行経費を計上する他、選挙人名簿の調製や選挙啓発事業等の経常事務経費を計上している。

平成20年度局配分枠予算について

監査事務局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

財政健全化法が施行されたことにより、平成20年度から健全化判断比率等に対する審査及び意見を付すことなど、監査委員に新たな業務が加わることになる。

このため、平成20年度局配分予算の編成に当たっては、財政健全化法への対応を含め職員のより一層のスキルアップに努めるため、研修経費の充実を図った。

平成20年度局配分枠予算について

人事委員会事務局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

京都市政を担う有能な人材の確保のための採用試験の充実、職員の持てる能力を最大限に発揮できる人事制度の調査・研究、公平な不利益処分審査などを行うための予算編成を行った。

平成20年度局配分枠予算について

理 財 局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

理財局においては、財政運営、市税の賦課徴収、公有財産の管理、物品等の調達など、経常的かつ市政の運営上必要不可欠な事務を所管しており、限られた財源の範囲内で、より円滑な行政サービスや市税徴収体制の強化につなげることを念頭において予算を編成した。

具体的には、税制改正への対応や市税徴収率の更なる向上に向けた取組として、新たなシステムの開発に着手することや、談合等の不正行為を防止・排除するため、引き続き、入札・契約体制の改革に取り組む。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

【肉付補正予算計上】

公的年金からの特別徴収に伴うシステム改修 142,000 千円

<充実事業>

【当初予算計上】

滞納整理支援システム開発 全体事業費 271,000 千円（うち充実分 162,000 千円）

【肉付補正予算計上】

電子入札システム改修 全体事業費 97,840 千円（うち充実分 15,000 千円）

平成20年度局配分枠予算について

会 計 室

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

会計室は、金銭会計事務及び物品会計事務を所管しており、京都市行政業務情報システムの基幹である財務会計システムの運用・管理に要する経費等を予算計上している。